

授業計画書(シラバス)

教科名	応用造形	曜日 時間	水曜日 9:10～15:50	担当者名	主任教授 本郷仁
-----	------	----------	-------------------	------	-------------

	前期指導案			後期指導案		
(年間 5回 授業日)	4月	15	22	10月	7	14 21 28
	5月	13	20 27	11月	4	11 18 25
	6月	3	10 24	12月	2	9 16
	7月	1	8	1月	13	20 27
	9月	2		2月		
方授 法業	(講義 ・ <u>実技</u>)			(講義 ・ <u>実技</u>)		
授 業 内 容	<p>《大阪産業大学との連携授業》 大阪産業大学建築・環境デザイン学科笹岡研究室の学生と共同で、ガラスプロダクトのデザインと実制作について学ぶ。 4～6月：毎週水曜日、Skypelによる合同授業 6月中旬：来所予定。試作品を基に検討 7月中旬：プロトタイプ完成</p> <p>《アイデア展開》 各自の作品を展開するために、お互いの発想や表現方法について検証する。</p> <p>《素材研究実習》 ガラス素材の特性を理解し、新たな発想のきっかけを見つけるために、ガラスを用いた実験的製作を行う。</p>			<p>《ガラス制作者として必要な、素材や設備機材に関する知識を、講義と制作を通して学ぶ》 ガラスの物理的特性、溶解炉・電気炉の仕組み、ガラスの製法、歴史から見たガラス工芸・美術など。</p> <p>《クイックプロジェクト》 毎週テーマを設け、ガラス以外の素材を用いた小作品の制作を行い、素材の特性と視覚表現の基礎を学ぶ。</p> <p>《展示活動》 学内のギャラリー(または学外の展示場所)で、グループ展として作品展示を行い、表現の総体としての展覧会を意識した、実践的な訓練を行う。</p>		
到達 目標	他者との協働(グループワーク)と個々の作品の検証を通して、柔軟な発想力を養い、より個性的な表現の確立を目指す。			将来を見据えた制作の方向性の模索と、制作発表に関する実践的な知識経験の獲得。		
成 績 評 価	各課題への取り組みの姿勢と。作品を実現するための具体的かつ計画的な制作。提出課題作品の相対的な質と量。			各課題への取り組みの姿勢と。作品を実現するための具体的かつ計画的な制作。提出課題作品の相対的な質と量。		
事 留 意	大阪産業大学との打ち合わせ (共通認識の確認)			本クラス課題と各人の研究制作の時間的 バランス。		